

⑧ Win10 : スタートメニューのカスタマイズ

● スタートメニューをカスタマイズする

Windows 10 では、最初に触れるユーザーインターフェイスが大きく変わった。Windows 8 で Windows 7 までのスタートメニューがなくなったが、Windows 10 では復活した。ただ、その使い勝手は Windows 7 までのスタートメニューとは大幅に異なる。

Windows 8 のスタート画面と、かつてのスタートメニューの融合したような作りになっており、「タイル」と呼ぶアプリのアイコンが表示され、クリックでアプリが起動できる。このタイル一覧では、よく利用するアプリをタイル表示にしたり（図 6）、タイルの位置やサイズを変更するなど（図 7、図 8）、カスタマイズが可能だ。スタートメニューの表示領域も変更できる（図 9）。



図 6 ● タイルを追加するには、「すべてのアプリ」を開いて、アプリ名を右クリックして「スタート画面にピン留めする」を選ぶ

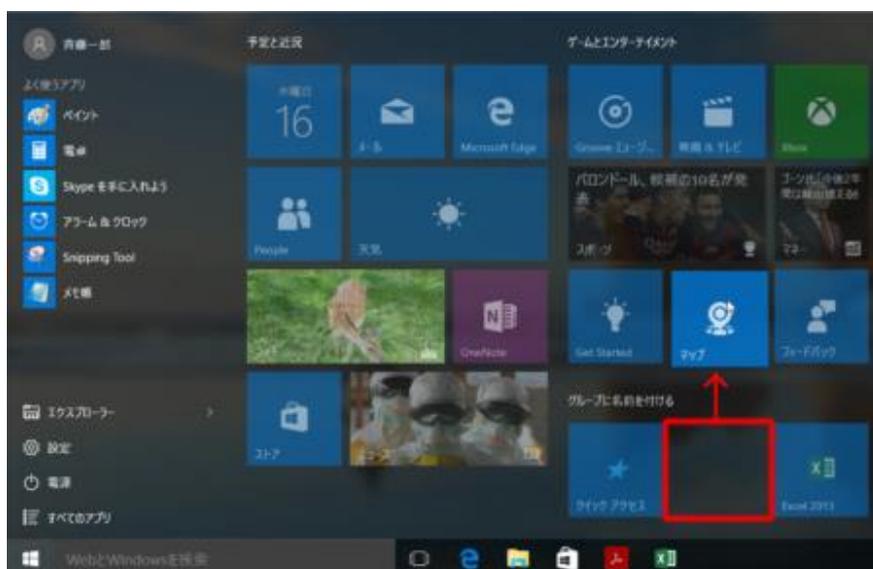


図 7 ● アプリのタイルをドラッグすると配置を自由に変えられる

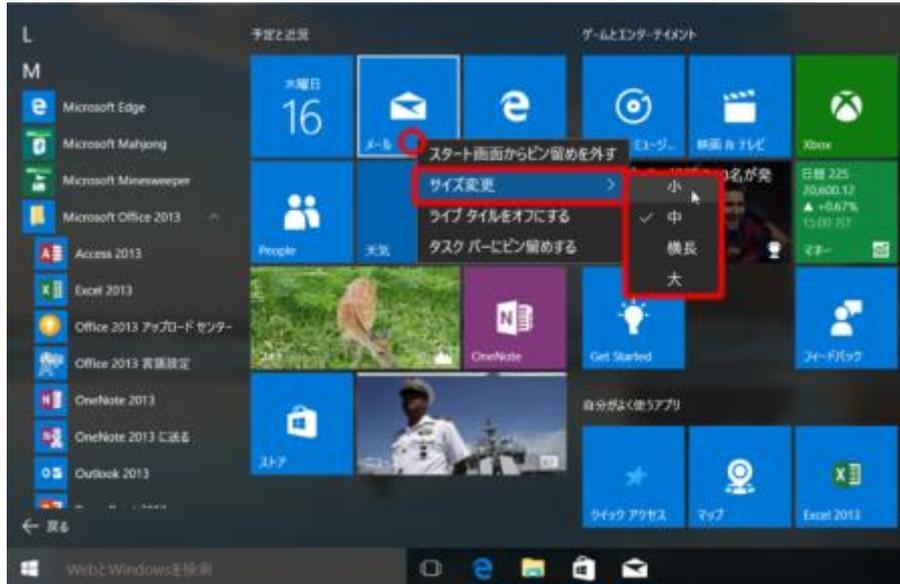


図 8●タイルのサイズは 4 種類。タイルを右クリックメニューにある「サイズ変更」からサイズを選ぶ



図 9●スタートメニューの表示領域自体も変えられる。スタートメニューの右や上の境界線をドラッグしよう